



志賀小学校道徳便り

はーとふる志賀



令和7年8月7日

暑さが厳しい毎日が続いておりますが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。もうすぐお盆を迎え、家族で過ごされるご家庭も多いかと存じます。熱中症や体調不良に気を付けてお過ごしください。

さて、お盆の時期になぜお墓参りをするのかご存じでしょうか。その理由を調べてみました。

お盆は仏教の行事である『盂蘭盆会(うらぼんえ)』に由来しているようです。お盆の時期に、「先祖の霊がこの世に帰ってくる、家族のもとに帰ってくる」とされており、その霊を迎え入れ、日頃の感謝の気持ちを伝えるためにお墓参りをするそうです。

ずっと昔から命がつながれてきて今の自分があること、命の尊さ、感謝を改めて感じることができました。子どもたちにとっては少し難しい話かもしれませんが、命について学ぶ機会になるのではないのでしょうか。お盆にお墓参りされる際はお話してみるのもいいかもしれませんね。

この8月号では、全校登校日に行われた平和学習についてお伝えします。命について、平和について学ぶ機会となりました。



【平和集会】

各学年で平和学習を行いました。それぞれの実態に合わせ、80年前この日本でどんなことが起こっていたのかを伝えました。子どもたちはその事実には驚いたと同時に、平和を願う気持ちが一層強くなったと思います。

【1年生】絵本「かわいそうなぞう」



【2年生】絵本「字のないはがき」「タケノコごはん」



【3年生】

NHK 動画「ヤマンの手紙」「働く子どもたち」



【4年生】

DVD「夏服の少女たち」



【5年生】DVD「戦場を歩いた女の子」



【6年生】DVD「本土空襲全記録」



【児童の感想】

戦争当時、日本はアメリカの爆撃でたくさんの人の命をぎせいにした戦争であることが分かりました。親にもらった命の大切さが分かりました。

亡くなった多くの命をむだにしないように、自分が大人になったとき、子どもに戦争の話を語りついで、もう二度と戦争がおきないようにしたいです。

小さな平和からつくっていくと大きな平和になって戦争がおこらない可能性もふえてくるので、みんなで助け合いたいと思いました。

何がきっかけで戦争になったのかも調べて、次世代にも戦争をしないように伝えていきたいです。

日本は憲法でもう戦争をいないと決めただけで、世界ではまだ戦争をしている国があるので、被爆した方たちの気持ちを受け継いでいけるように頑張りたいです。

各学年どの子どもも、戦争や平和について真剣に考えていました。命を失ってしまった方々に思いを馳せたり、争いのない日本、世界にするためには…と考えたりする良い機会となりました。真剣な顔つきに頼もしさを感じました。

【動画紹介】

戦争を体験した方、戦後間もない時代を生きてきた方たちが年々少なくなってきています。だからこそ、改めて戦争について語り継ぐ意味を考えたいと思います。8月15日は終戦の日。NHK for School には多くの戦争関連動画があります。当時の映像や体験された方のお話があります。ぜひこの機会にお家で動画を視聴してみてください。



戦争についての特集番組

戦争に関わる動画

戦争の証言（太平洋戦争）

戦争を体験した人たちの話を聞いてみましょう

